

令和2年4月17日

教職員各位

研究室内活動ならびに進路指導における 新型コロナウイルス感染症対策について

学生主事 山吹巧一

地域共同テクノセンター長 綱島克彦

本校では新型コロナウイルス感染拡大の予防のため臨時休業を実施中ですが、研究室での研究活動や学内での学生の進路指導に関する活動について、それらの活動維持に必要な最低限の活動に制限せざるをえません。やむをえず学内に立ち入る必要がある場合には、教職員、学生ならびにその家族の健康と安全を確保し、かつ濃厚接触者を最小限に抑えるために、下記の留意事項を方針として示します。

研究室内活動ならびに進路指導における留意点

1. 不要不急の活動は回避してください。教職員については、感染拡大防止のための適切な対応をとりながら必要とされる研究活動を継続するとともに、学生が自宅でできる作業は可能な限り自宅で行わせてください。
 2. 学内において教職員および学生はマスクを常用して、手洗いを励行してください。
 3. 教職員および学生の研究室への入退室記録を残しておいてください。
(もし感染者が出た場合、濃厚接触者を速やかに特定する際に必要な情報になります。)
 4. 学内では、「密集・密接・密閉」(3密)を徹底的に回避する環境を確保してください。
 - ・打ち合わせ等を行う時は、窓を開けるなどして室内換気を十分に行い、適度に中断して休息してください。
 - ・遠隔会議が可能な場合は、Teams等を活用してください。
 - ・実験室/実習室およびその居室、就職資料室等では、対面を避け、互いに適度な間隔(1m以上)を空けて作業し、換気を十分に行ってください。
 - ・共用の機器や什器等は、消毒または清拭により清潔に保ってください。
- ※ 上記の方針は、原則として、始業までの期間に適用するものとします。
※ 今後の感染拡大状況によっては、方針を見直すことがあります。
※ マスクの備蓄が充分ではありません。学生にマスクは持参するようご指導願います。

以上